

# 佐世保の宝じまん

S 蜂の家 S

カレシをください食後にシュークリームま  
あ、いいにおいだな。皆さんは蜂の家に行ったこと  
はあるだろうか。蜂の家の歴史は一九四八年東南アジア  
でスパイスを習得したことから始まる。

蜂の家といえ、シュークリーム。その前に蜂の家の食をもっとおいしく食べてほしいので蜂の家の歴史を紹介していく。まず蜂の家は平倉タチオさんと田淵八才さんの兄弟での創業でタチオさんとハルオさんは日本人の味覚にあうように研究してとろみを付けた欧風カトを作りこの喫茶店での食卓として出した。一九五三年頃、フランス料理に精通していたハルオさんは、シュークリームを作っていた。販売当時は終戦後の食糧難でバターや小麦粉といった食材も手に入りづらい時代だった。ですが佐世保には木單基地があったため比較的そういう食材が手に入りやすかった。まだ甘い物が少ない時代にバナナや焼きリンゴを入れたシュークリームに、スカッシュをにかけて食べるスイーツはたちまち街の評判になったらしい。

当時はデートに蜂の家のシュークリームを食べに行こうというのが定番だったらしい。お店でお見合いして、結婚したカップルがいるらしい。長く続いていっているの  
で、色んな人がこのシュークリームに  
思いがある人が多い。

このように蜂の家には色々な、  
魅力がある。ぜひ初めての人にも  
行ってもらいたい。ついでに、家族の  
分も持ちかえ、たらとうだろう。



# 佐世保の宝 蜂の家

がうガラ玄関の扉を開ける音。テーブルには人が座  
 っていて名物のカレーをおいしそうにほうぼうと  
 いる。厨房からいい匂いも流れてきます。このカレー  
 は絶対においしい。この店の名は蜂の家だ。今からそ  
 の店のカレーを紹介していきます。

まずカレーには十六種類のスパイスが入って  
 るそうです。その内容はわかりませんが、甘いや  
 辛口を頼んだときのピリッとした味も、やほのや  
 かな甘みもあるのです。ごく美味しいです。

そして蜂の家のカレーにはレトルトのカレーも  
 あるそうです。このレトルトにもすごくいいところ  
 があります。すごく美味しい。蜂の家のカレーを家  
 も食べられたい。旅行で異地に来た方は、ぜひかえ  
 ることもおすすめです。

そして蜂の家の歴史は昭和二十六年（一九五  
 十一年）長崎県佐世保市にてカレーとシュークリーム  
 ームのお店を開き、欧米カレーとシュークリームを  
 看板メニューとして創業七十三年ずつと愛されて  
 きたレストランです。

このように友達や家族と旅行に来たさばに蜂の  
 家はびたりです。今説明した通りだから、蜂の家  
 は佐世保の宝なのです。



写真提供 6年組担任



# 佐世保の宝の蜂の家



ああ！美味しい。これは一度食べてしまったら  
ほっぺが何個あっても足りないぐらい。

そんなシュークリームが食べられる蜂の家について  
皆さんは知っていますか？蜂の家は佐世保市内に  
ある場所は、長崎県佐世保市栄町五丁目九です。

今から蜂の家のシュークリームの良さについて  
教えていきたいと思います。

まず、何と言っても、蜂の家のシュークリームは、  
これでもか！と言うほどの欲張りな量のフルーツ  
がえげつないほど入っています。バナナやキウイ、

焼きりんご。

このフルーツらがゴッロゴッロ。

その欲張りさがゆえに、飽きるかもしれない。  
ですがその欠点さえも蜂の家の特製スカッチソース  
でなくなってしまうんです！私がオススメする食べ方  
は、最初は元の味を楽しんで、その後スカッチソースを  
かける食べ方です。

それに、シュークリームができた理由が面白くて、  
店主が、奥さんを喜ばせようとしてできた  
ものなのです。

果物が大量に入っていて、飽きたとしても  
スカッチソースでさらにおいしくなる。

そして店主の思いがこもっているか  
らこそその佐世保の宝である蜂の家の  
のです。こんなにもいいところしかない  
蜂の家に、行かないわけないですよ。  
ね！行って損はないと思います。  
なのでぜひ！食べに行ってみて  
ほしいです！よろしくお願ひします。

